

会議名	第6回地域計画分科会		公開
日時	平成30年10月15日(月) 午後7時30分～午後9時00分	場所	一鍬田公民館 食堂
出席者	(委員) 伊田雅美、宮部直樹、安形武、小柳津芳久、加藤久美子、恩田敏明 山本いづみ、井上こずえ、滝川多嘉子		
	(事務局) 自治振興課：川合主任 自治振興事務所：松井所長、黒田主任		
欠席者	(委員) 夏目祐輔	傍聴者	0名
配布資料	次第		

議題・議事・発言等（要点記録）

1 開会

分科会長が挨拶を行い、本日の分科会成立の報告及び会議録署名人の指名を行った。

2 意見交換

今回の分科会では、八名地域計画の9本の柱の内、主に「健康・福祉」について意見を出し合った。

<主な意見>

- (委員) 高齢者が一番困っているのは買い物ですかね。移動販売車が週1回ってくれていますが、まだまだ少ないと思います。
- (委員) Sバスも通院と買い物ができるような路線に変更してくれば使い勝手が良くなると思います。
- (委員) 他自治体でも買い物難民、医療難民の問題を解決するための取り組みが始まっています。そういった事例を参考にしてもいいかもしれません。
- (委員) 地域の集会所などで、症状別の講座を開催してみてもどうでしょうか。
- (委員) いくつかの症状をセットにしたり、講座と軽い運動をセットにしたりすれば参加してくれるかもしれません。
- (委員) いずれにしても男性の参加は少ないと思いますので、何か工夫が必要だと思います。
- (委員) 高齢化が進むと、近所同士での支え合いが必要になってくると思います。
- (委員) 一人だと続かないことも、みんなと一緒にやれば続くと思います。仲間づくりができる場が必要だと思います。
- (委員) 高齢者だけでなく、子ども達の運動の機会も減っています。取り組みを通じて3世代交流を進めることもできると思います。
- (委員) 身近な場所に気軽に健康相談ができる場があるといいと思います。
- (委員) 保健センターに出前講座をお願いして地域拠点で定期的に相談にのってもらえるのもいいかもしれません。
- (委員) 保健センターの施設を知ってもらうためにも、逆に迎えにきてもらって保健センターでやってもいいかもしれません。保健センターへ一度相談してみてもどうでしょうか。

(委員) 八名地域の医療関係者に集ってもらって、八名の現状や、今後の取り組みについて話し合ってもらう機会を設けてはどうか。

(委員) 血圧の測定器を各集会施設へ整備してもいいかもしれません。

<その他の意見>

(委員) 八名でお楽しみのイベントが必要だと思います。青年団の復活、八名全域の盆踊りの開催などを計画していければと思っています。

次回の分科会では、9本の柱の内「人」について話し合い、地域計画としてまとめていく予定である。

3 その他

- ・ 次回の地域計画分科会について

話し合いの結果、次回の分科会を平成30年10月29日(月)19時半から一鍬田公民館で開催することとなった。

4 閉会